浅野中学校

算数
ふだんから問題をきちんと読み、一つひとつの計算をていねいに正確に行うことを心がけてください。問題に対してどのようにアプローチすればよいかという考え方を身につけることが、今後につながります。

国語
漢字・慣用句・四字熟語などの基本的な知識は国語力としてとても大切です。知らないことばに出会ったときにはその意味をしっかりと確かめようとする姿勢が重要です。基本的な問題をしっかりと得点できるようにしてください。

理科
基本事項を中心にまんべんなく勉強することが大事です。実験を題材にした問題や、グラフを読み取る問題が多いのも特徴です。過去問をしっかりと解いておきましょう。

社会
まず、基本的な内容をしっかり身につけてほしいと思います。そのうえで用語の丸覚えではなく、その背景や意味をしっかり理解して、説明できるようにしてください。また、社会は今の世界を見る目、考える力を養う教科です。現在世界で起こっていることを、学んだ知識と結びつけて考えてください。そして、それをことばにできるようになってほしいと思います。

鎌倉学園中学校

算数

大問は 8 題で、標準的な問題が中心です。簡単な問題も難しい問題も、配点は同じ 4 点なので、簡単なものを正確に解くことが大切です。総合問題（大問4～8）は、(1)，(2)は（3）を解くためのヒントや注意になっている場合があります。出題傾向は大きくは変わらない予定なので、過去の問題をよく演習してください。ただし、「算数選抜」については、すべてが記述式の問題です。考え方を図や途中式で記述してください。

国語

大問は 6 題で、1では教育漢字配当内の漢字を、書き取りのみ 5 問出題します。2・3ではことわざや慣用表現、文法などの知識や使い方について幅広く問います。これらは、基本的なレベルの問題が中心になります。4・5は長文読解で、4は物語文、5は説明文です。4・5とも 3500～4000 字程度の文章を出題します。設問は、記号選択式・抜き出し式・空欄補充式が中心です。また、40～60 字程度の記述問題があります。傍線部の内容について説明する、理由を記述する問題が多いです。6は図表や対話形式の文章、新聞記事などを素材とした問題を出します。資料をていねいに読むことで正解のヒントをつかめます。

理科

物理・化学・生物・地学の 4 分野から出題します。選択問題と計算問題が中心で、用語記入もあります。実験や資料からの考察問題は時間配分に注意してください。物理は音・浮力などについて出題します。化学は金属の性質、気体の性質などを勉強しておいてください。生物は植物について出題しています。地学では大地のつくり、天体、気象などから出題しています。

社会

大問 2 題構成で、大問ごとに一つのテーマに沿って出題され、地理・歴史・公民の各分野の小問が含まれています。基本的な用語は漢字で書けるように練習しておきましょう。簡単な論述問題もあります。資料のなかに根拠を見つけ、説明できるようにしておくとよいでしょう。地理は、日本の自然・産業、各地方の特徴が中心です。歴史は、古代から近現代まで、まんべんなく整理しておくとよいでしょう。年表を自分で作成してみるなどして、各時代の特徴をつかむことが大切です。公民では、近年起こった政治・社会問題も出題することがあります。日ごろから「現在、日本の政治や社会で何が問題になっているのか」と考えながら、ニュースや新聞に接するとよいでしょう。地理・歴史・公民ともに、時事問題に関心を持ちながら、基本事項を学習しておけば得点源になります。

サレジオ学院中学校

算数

基本的な知識、計算力、思考力を総合的に問う問題を出題します。分野の偏りがないように、各分野からまんべんなく出題するように心がけています。大問は 5 題で、内容は計算問題、図形、特殊算、数にかかわる問題です。途中の過程や理由を書く問題もあるので、図や式、ことばを用いて、考え方がわかるように解答してください。

国語

出題は、漢字の読み（3 問）書き（7 問）、説明文と物語文の読解（それぞれ 8 問程度）です。日ごろからことばに関心を持って勉強することが大切です。説明文では、話の展開やキーワード、筆者の意見を押さえながら読んでいるか、物語文では、登場人物の行動や気持ち、場面の展開などを押さえながら読んでいるか、読解の基本となる事柄を中心に出題します。それぞれに記述問題がありますが、誤字脱字は減点の対象です。

理科

知識の定着度、計算力、グラフ・図表の分析力などを幅広く問います。時間内に標準的な問題をきちんと解く力を求めています。大問は 4 題で、物理・化学・生物・地学の 4 分野から、ほぼ均等に出題します。身の回りの自然現象についての説明を読んで考える問題や、実験のグラフや表を読み取って規則性を見つけ、計算する問題などもあります。記号・語句・数値・記述などは指示された形式で答えてください。計算結果については、単位も含めて解答させる場合があります。

社会

基本的な問題を中心に、基礎力と組み合わせた発展問題、興味・関心を問う実力問題を出題します。時事的な話題を含む問題、統計や地図などの資料を読み取って考える問題もあります。2019 年度からは、地理・歴史・公民の 3 分野を大問 1 題に統合しました。配点は各分野ともほぼ均等で、75 点満点であることに変更はありません。学校で学習することだけでなく、生活の場で得られる知識に関して出題することもあります。地名・人名・用語など漢字指定の問題は、漢字の間違いや、かな文字での解答は不正解となります。

逗子開成中学校

算数
四則演算の正確さ、計算法則を用いて工夫して計算できるか、各分野の基本的事項が身についているか、その基本的事項を組み合わせた少し複雑な問題に対応できるような思考力・読解力を習得しているか、などを問います。なお、ことばや数式を用いて、論理的に自分の考えを表現する問題も必ず出題しています。そのような記述問題には慣れておいてください。

国語
漢字の読み書きや語句の意味などの語彙力、文章を論理的に把握する読解力、読み取った内容についてさまざまな観点から考える思考力、的確に説明する表現力などを問います。記述問題では、いかに部分点を取るかが重要です。文章から解答すべき要素を見つけて、記述するようにしましょう。

理科
物理・化学・生物・地学の各分野から偏りがないように出題しています。各分野の基礎力を十分に養ってください。また、環境問題や理科に関する時事問題を出す場合もあります。日ごろから科学に関心を持ち、ニュースや新聞などを通じて、現代社会で起きている科学的事項に触れ、基本的内容に関心を持っていてもらいたいと思います。大問の前半部分の問いは、ほとんど基礎事項を問う内容です。ここでしっかり得点をして、発展的内容の問いをできるだけ多く解くことが大切です。文章で答える記述問題では、キーワードを落とさぬよう注意してください。

社会
地理・歴史・公民の各分野から偏りなく、基本問題を中心に出題します。文章や統計データ（グラフ・表）を読み取る力、ある事象について知識を複合的に用いて考える力、重要語句を正確に書く力、筋道を立てて説明する力がどれくらいあるかを測れるよう作問しています。着実に各分野の基礎・基本を学習していくことが大切です。また、丸暗記ではなく、覚える語句にどのような意味があるのか、どのような事柄と関連しているのかを、日ごろから意識して学習しておいてください。